

## 令和3年度 2学期終業兼3学期始業式あいさつ

皆さん、こんにちは。校長の塩野です。2学期の終業式、3学期の始業式にあたって少しだけお話をします。

私の探究活動からの話です。ほとんどの日は電車通勤している私ですが、自宅から最寄りの駅までは自転車できています。本校では学校まで自転車で来る人が400名を越えます。自宅から最寄り駅まで自転車を使っている私のような人を加えると、かなり多くの人が通学のどこかで自転車を利用しています。

さて、この写真は見えますか。私の探究の始まりです。これは私がいつも駐輪する駅の自転車置き場の9月の様子です。写真を見れば、私と同じ駅から通学している人はどこの駅かが分かるかと思いますが、駅名を当てるのが今日の目的ではありません。

どうですか。この駅前の自転車の止め方はどうみても交通の邪魔になっています。ルールがあるわけではないけれど、皆が気持ちよく社会生活するにはどうしたらいいのか。この状況をどうしたら変えられるか、これが私の探究テーマです。

最初は自転車置き場が足りないのかなと思って、数えてみました。きちんととめれば足りそうです。写真を見ると、駐輪場まで入る途中にとめている自転車もあって、なかなか中まで入りづらいんです。夜の帰宅時はこんな感じです。

さて、どうしたらいいか。駅員に連絡する。JR 東日本の施設なので、JR に電話する。近所の区長さんに相談する。いや、ステッカーが貼ってある学校に電話して文句を言う。毎日自分で整理してみる。対応はいろいろ考えられますが、私は安曇野市議会議員の小林陽子さんに、こうした場合の対応はどうするのかを聞きに出かけました。(この方です)長野県のお生まれではありませんが、結婚して安曇野市に住んでいらっしゃいます。

議員には多くの要望が寄せられるそうです。請願や陳情という正式な要望も出るそうです。すると、市役所の担当部署に話に行き解決方法を考えたり、議会の一般質問や委員会の審議で取り上げたりしているそうです。そんな小林さんからの一言は、

「自分が困っていることを、自分だけの困りごとにしてほしくない。自分が困っていたら、きっと誰かも困っている。どうしたらいいかを考えてほしい。自分だけが我慢すればいいという人が、まだ多い。それでは社会は一步も前進しない。議員としても前向きに動きたい。」といわれました。

もう一人にもお聞きしました。こちらの写真は、これまで松本市議会議員を務め、今回の県議会議員補欠選挙に立候補した青木崇さん。青木さんにもお聞きしました。

青木さんは、松本駅前演説をしている時、「だれに投票したらいいか迷っています」と深志の生徒も含め18歳くらいの若者が何人か声をかけてくれたようで、選挙権を大切に受け止めている姿をみて嬉しかったそうです。市議会議員に寄せられる相談としては、自転車レーンやバスの利便性向上、などの交通問題が多く、それ以外には子育て、雇用や労働環境に関する相談もあるそうです。

青木さんからは、こんな言葉をいただきました。「我々には、仲間を作って問題提起していく、そして一つの世論を作っていく、地域課題を広げていく権利があり、深志の生徒にも陳情や請願を出してほしい」とのことです。

我々は社会の様々なルールを守るのはもちろん、より良き社会を作っていくために何ができるか。私自身の探究は、もう少し続きます。もう少し駐輪場の観察をしてみたいと思っています。

(中略)

最後に、今日は終始業式。3年生へ、ここまでやってきた自分の力を信じて、今やっていることやっている教材を信じて、最後まで粘り強く夢に向かって挑戦してほしいと思います。応援しています。

1、2年生へ、今の生活を振り返り、これから続く深志高校での生活で何をつかむか、自分の将来の生き方を展望しつつ、外にも目を向けて幅広く興味関心を抱き、学び、今の自分の姿からもっとこうなりたいという姿への変容を期待しています。終わります。